



先週末、九州北部が梅雨入りしました。これは、統計開始以来2番目に早い梅雨入りだそうです。当分の間、蒸し暑く、雨が多い日が続きます。

先日、代表委員会で、「雨の日の過ごし方」を議題とした話し合いが行われました。校内で安全かつ楽しく過ごすにはどんなことが必要か、意見を交わしていました。これからみんなで工夫しながら、安全な梅雨の暮らしに取り組んでほしいです。

走ろう会が復活しました

昨年度は中止していた、朝の「走ろう会」を先週から復活させました。コロナ禍にあって、運動不足になっている子供の増加は否めず、体力の低下が懸念されます。それは抵抗力の低下にもつながり、ひいては、様々な感染症に打ち勝つ力も低下していきます。

そこで、今年度は5月・9月・2月と、期間を限定して、すべての子供が体力づくりに参加できるよう、週2回、8時10分から5分程度の時間で、ランニングまたは縄跳びに取り組むことにしました。早くも梅雨入りし、5月はどれだけ実施できるかわかりませんが、「たくましい子」にふさわしい体力がつくよう、できるだけ取り組んでいきたいです。



昨年度と変わったこと（その3）・・・家庭訪問と保護者面談

今年度から、学級担任が各家庭を訪ね、御家庭での様子を伺う「家庭訪問」をなくしました。これには次の理由があります。

- ・家庭訪問期間中の午後は授業をカットしなければならず、近年の豪雨や台風接近による臨時休業が増加傾向にある中、授業時数不足が生じる恐れがあること。
- ・4月中旬～5月上旬にかけて、学級集会や授業参観・PTA総会もあり、保護者には何度もお仕事を休んで対応していただかねばならないこと。

しかし、子供の通学路や居宅の位置を把握し、緊急時にすぐ対応できるようにすることも大切なので、大型連休明けの6日間、各担任が放課後に確認の巡回をいたしました。また、早いうちに担任と保護者が談笑しながら、お子さんの様子やお互いの教育方針などを情報交換し、共通理解を図る行事は捨て難いのも事実です。

そこで、授業がない夏休み（7月下旬）に、保護者面談を実施します。御用意のほど、よろしくお願いいたします。

子供に身に付けさせたい力・・・歩いて登校

本校は、遠隔地に住む子供を除き、「歩いて登校」を推奨しています。子供の平均体力は低下の傾向があり、これは「近くでもマイカー移動」の影響もあるのではと思います。けがや障害、不審者対応による登下校サポートが必要な場合は除きますが、歩いて登校は、子供の自立心や気力・体力増進に役立つものと考えます。また、マイカーで送ることで、学校入口や駐車場付近は混雑し、交通事故の恐れもあります。本校の中には3km近くの道のりを歩いてくる子供もいます。そういった意味でも、安易なマイカー登校は極力控えていただきたいと思いません。特に、雨の日は車で送ってこられる方が多く、入口が混雑します。雨で濡れてもいいように靴下の替えを持たせるなどして、少々の雨の日も「歩いて登校」に御協力いただければと思います。

